

前号に引き続き、  
「創立130周年記念星野富弘詩画展」と「星野富弘の詩による歌曲集コンサート」の  
企画・実現した背景をお届けします！

## どのように実現したのか？

教育学部教育学科のなかにしあかね教授が以前より星野氏と親交があり、なかにし教授が星野氏の詩に作曲した作品がすでに日本全国で広く歌われていたというご縁があったからこそ、嶋田学院長の願いの実現に向けて動き出しました。嶋田学院長・なかにし教授・井上研一郎教授（人間文化学科。詩画展担当）の3名で、2015年2月に群馬県の星野氏のご自宅に伺い、詩画展開催のお願いを致しました。星野氏にその場でご快諾頂いて、このイベントが誕生しました。

## TOPICS

2016年、「富弘美術館」の25周年を記念した美術館テーマソングを、なかにし教授が作曲しています。タイトルは「風の旅」です。（2016年5月14日の美術館25周年式典で初披露され、これから全国に広まっていきます）また、なかにし教授が作曲、星野氏が作詞した合唱曲「秋のあじさい」は、高校音楽の教科書にも採択されています。「秋のあじさい」・「風の旅」は、今回のコンサートの最終ステージで宮城学院130周年記念合唱団により演奏されます。



## 詩画展とコンサートを同じ時期に実施する狙いは？

星野氏の描かれる絵、紡がれる詩は、本学院の建学の精神等にも通じ、本学院の存在を示す理想的な作品です。これらの作品を、目で見ること、耳で聴くこと、その両面から立体的に味わって頂きたいと考えたことが狙いです。（企画に関わった嶋田学院長、なかにし教授より）



詩画展とコンサートのチケットは、  
「チケットぴあ」または「ローソンチケット」  
にて好評発売中（WEBから申込可能）